

報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター  
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 29 年 12 月東北分  
 (東北6県)」について

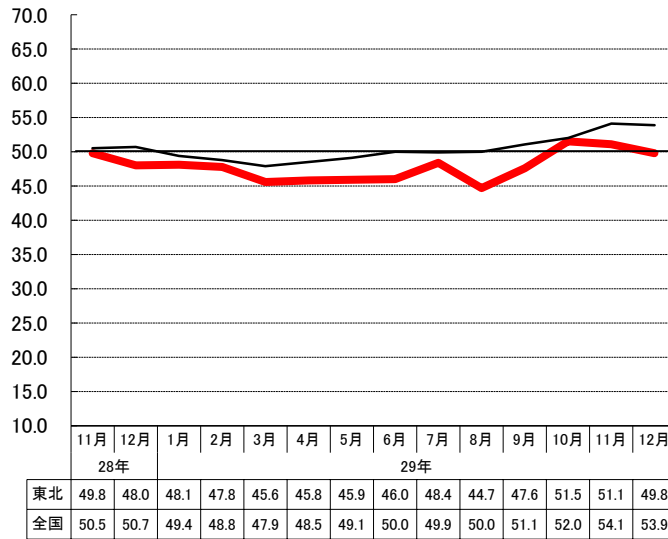
公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 29 年 12 月東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

(1) 現状判断（3ヶ月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断DIは「49.8」と2ヶ月連続で前月を下回った。前月と比較し▲1.3ポイントとやや下回った。

現状判断DIの推移

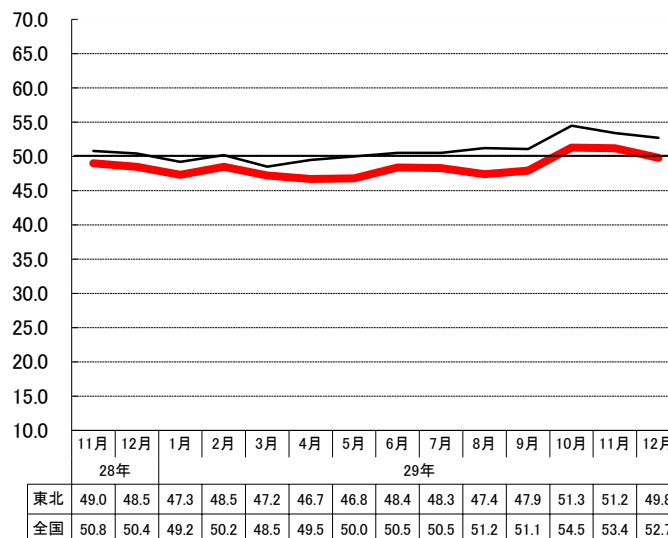


— 東北 — 全国

(2) 先行き判断（2～3ヶ月前の見通し、方向性 季節調整値）

先行き判断DIは「49.8」と2ヶ月連続で前月を下回った。前月と比較し▲1.4ポイントとやや下回った。

先行き判断DIの推移



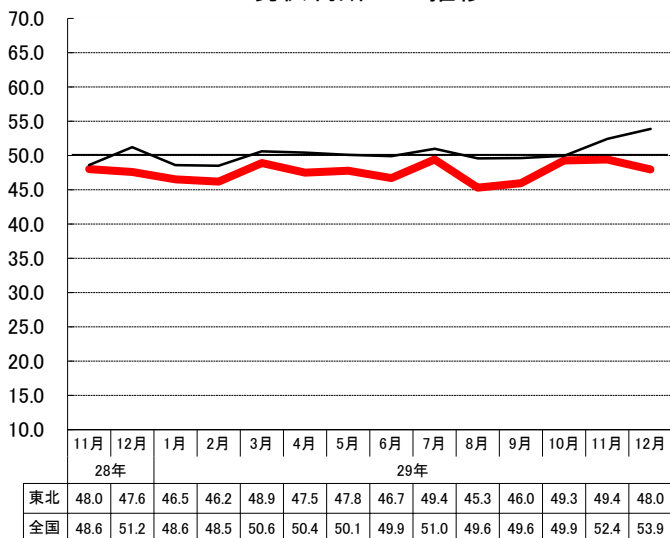
— 東北 — 全国

## 2. 原数値

### (1) 現状判断(3ヶ月前との比較、方向性)

現状判断DIは「48.0」と4ヶ月ぶりに前月を下回った。前月と比較し▲1.4ポイントとやや下回った。

現状判断DIの推移



— 東北 — 全国

・家計動向…家電量販店、旅行代理店、一般小売店等の業種でDIが前月を上回ったが、住関連専門店、通信会社社員、乗用車販売店等の業種でDIが前月を下回った。DIは「46.4」(▲2.1)と4ヶ月ぶりに前月を下回った。

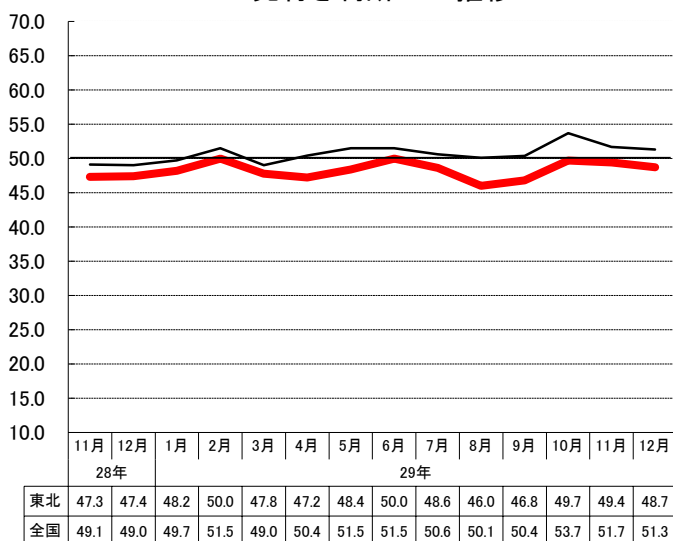
・企業動向…繊維工業、輸送用機械器具製造業等の業種でDIが前月を上回ったが、農林水産業従事者、出版・印刷・同関連産業、建設業、広告代理店等の業種でDIが前月を下回った。DIは「48.0」(▲2.0)と4ヶ月ぶりに前月を下回った。

・雇用動向…DIは「57.9」(+4.1)と3ヶ月連続で前月を上回った。

### (2) 先行き判断(2~3ヶ月前の見通し、方向性)

先行き判断DIは「48.7」と2ヶ月連続で前月を下回った。前月と比較し▲0.7ポイントとわずかに下回った。

先行き判断DIの推移



— 東北 — 全国

・家計動向…衣料品専門店、観光型ホテル、住関連専門店等の業種でDIが前月を上回ったが、旅行代理店、高級レストラン、通信会社社員等の業種でDIが前月を下回った。DIは「47.2」(▲1.0)と2ヶ月連続で前月を下回った。

・企業動向…広告代理店、通信業等の業種でDIが前月を下回ったが、それ以外の業種では前月からDIが横ばいもしくは上回った。DIは「50.0」(+1.3)と3ヶ月ぶりに前月を上回った。

・雇用動向…DIは「55.3」(▲2.2)と、4ヶ月ぶりに前月を下回った。

## <参 考>

### ■DIの推移（原数値）

#### （1）現状判断（方向性）DI

	28年		29年											
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
東北現状	48.0	47.6	46.5	46.2	48.9	47.5	47.8	46.7	49.4	45.3	46.0	49.3	49.4	48.0
家計動向関連	47.1	46.0	45.6	44.7	49.2	47.4	47.0	45.5	49.1	44.4	46.8	48.5	48.5	46.4
企業動向関連	47.1	48.6	46.6	46.5	45.7	43.6	50.7	44.6	48.6	44.7	45.3	50.0	50.0	48.0
雇用関連(参考)	55.0	55.3	51.3	53.8	52.5	55.3	47.5	57.5	52.5	51.3	42.5	52.5	53.8	57.9

#### （2）先行き判断DI

	28年		29年											
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
東北先行き	47.3	47.4	48.2	50.0	47.8	47.2	48.4	50.0	48.6	46.0	46.8	49.7	49.4	48.7
家計動向関連	46.4	46.6	47.1	49.3	48.1	47.1	50.0	50.0	48.1	45.9	45.7	48.9	48.2	47.2
企業動向関連	46.4	46.6	50.0	49.3	45.7	44.3	44.6	48.0	47.3	45.4	49.3	50.0	48.7	50.0
雇用関連(参考)	53.8	53.9	51.3	55.0	50.0	52.6	46.3	53.8	53.8	47.5	48.8	53.8	57.5	55.3

※DI（Diffusion Index）について…50を基準とし、50を超えると景気が良い方向にあることを示す。

### ■調査の概要

調査期間 平成29年12月25日～31日

回答者数 173/189名、回答率91.5%(全国1,841/2,050名、89.8%)

以 上

#### <お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：萱場 喜樹）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-225-1426 FAX：022-225-0082

## <別 紙>

### ■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

#### （1）現状判断理由

##### ○「やや良くなっている」

- （酒類販売店）…ここ数年伸び悩んでいたお歳暮であるが、今年は単価、数量共に上昇している。また、控え気味であった忘年会なども今年を行う企業が多く、飲食店への販売量も増加している。企業に少し余裕が出てきているのではないかと。
- （靴専門店）…12月に入り単価が落ちてきている。セールの売上は良いものの、それ以外は厳しい。また、初売り待ちの客も多い。
- （高級レストラン）…キャンセルが出て、それを補うことができるなど、少しずつ景気は良くなっている。また、ネット予約の増加もプラスの要因となっている。
- （一般レストラン）…忘年会シーズンのため、例年どおりの忙しさである。更に1月の予約も例年より多い。
- （旅行代理店）…テロや北朝鮮のミサイル問題などの不安要素による落ち込みを危惧していたが、首都圏方面は横ばいであり、関西、九州エリアの個人旅行においては、前年同時期より販売量が増加している。また、年末の申込み状況も堅調である。
- （電気機械器具製造業）…新製品開発に向けて、積極的な動きがみられている。
- （人材派遣会社）…新卒採用ができない企業が増え、中途採用に動くケースが増えている。第二新卒層の採用から経験者の中核人材の採用まで、幅広い案件がきている。
- （新聞社〔求人広告〕）…地元のベンチャー企業や新規参入の若手企業が、少しずつ求人募集をするようになってきている。ただし、相変わらずの人手不足で採用ができない状況が続いている。
- （職業安定所）…4月以降、新規求職者数は横ばいで推移している。年齢の構成割合としては、45歳未満は減少し、45歳以上は増加している。

##### ○「変わらない」

- （商店街）…月前半は出足が鈍かったが、後半から徐々に来客数が増えている。ただし、売上に結びついておらず、師走という感覚は年々薄らいでいる様子である。
- （百貨店）…気温が例年よりも低めに推移していることが影響してか、慎重な購買姿勢に変化はみられない。降雪の影響もありシニア、シルバー層の来客数減少が顕著であり、来店しても単価、購入点数共に大きく落ち込んでいる。キャリア層の冬物重衣料に若干の復調の兆しがあるものの、全体的な回復傾向はみられていない。
- （衣料品専門店）…年末セール時期になっても客の購買意欲が低く、実際に来客数も減少している。ただし、販売量の減少を単価の上昇でカバーしているため、売上は前年並みとなっている。
- （家電量販店）…今月は寒さもあり、暖房などの季節商材の売行きが好調であるが、白物家電は前年並みの売上である。また、テレビ自体の売上は前年を上回っているが、4Kテレビは価格が下がったことで販売量が増加したものの、利益は薄い。
- （観光型ホテル）…例年と比べて平日の忘年会の予約が少ない。景気は余り良くないのではないかと。
- （都市型ホテル）…宴会部門は前年並みに推移している。宿泊部門は、団体客はあるものの個人客が減少しており、前年に届いていない。ただし、レストラン部門においては、宿泊部門とは反対に個人消費が伸びており、クリスマスディナーの利用も多く、売上は前年を上回っている。
- （タクシー運転手）…正月が近いということで、乗り控えが目立っている。
- （通信会社）…既存サービスの維持ばかりで、新規製品が売れない状態が続いている。

(観光名所) …来客数を支えているインバウンド客が、団体から個人にシフトしている。JRなどを利用してやってくるため、なかなか手荷物を持とうとせず、土産品が売れない。そのため、インバウンド客で来客数が増えているにもかかわらず、売上にはつながらないという状況が続いている。

(美容室) …なじみ客の再来店率は前年をやや上回っているものの、新規客の来客数が激減している状況が続いている。

(食料品製造業) …お歳暮については、客単価が上がっているものの、受注量は若干減少している。

(建設業) …3か月前から余り変化はなく、年末に向けてコンスタントに受注が確保できている。

(経営コンサルタント) …地元の水産加工業では原料不足が深刻化しており、発注元の要求にこたえられない状況が続いている。

(飲食料品卸売業) …今年に入ってから11か月間、売上、販売量共に前年比5%の落ち込みが続いている。この状態が改善する気配もないため、景気が良いとはいえない。

## ○「やや悪くなっている」

(スーパー) …今月は暴風や暴風雪など天候不順が続き、その影響で来客数が減少している。

(コンビニ) …週末の天候不順もあり来客数が減少しているが、その中でも太平洋沿岸被災地の減少幅が大きい。また、全体的に高額商材に動きがみられるが、来客数の減少をカバーするには至っていない。

(乗用車販売店) …自動車メーカーの不正検査問題によるリコールのため販売量が減少しており、3か月前と比較すると悪くなっている。

(住関連専門店) …納品先の現場が人手不足の影響で遅れている。作りつけの注文家具のため、納品期日の遅れが販売量の減少につながっている。

(住宅販売会社) …客単価が低く、受注に時間がかかっている。

(出版・印刷・同関連産業) …自社及び同業他社の売上、折込チラシの取扱量など、3か月前と比較して約10%減少している。

(窯業・土石製品製造業) …需要に結び付くような地域をけん引するプロジェクトがなく、販売量は大幅に減少した前年よりも更に下回っている。

(広告代理店) …銀行の商品チラシの改訂時期にもかかわらず、改訂見送りや統廃合により縮小している。

## (2) 先行き判断理由

### ○「やや良くなる」

(百貨店) …高額商材が好調に推移していることから、全体的な景況感は決して悪くない。初売り福袋の問い合わせなども多く、この先も良い方向に動くことを期待している。

(衣料品専門店) …現在、成人式のマーケットが順調に動いている。この先2～3月で動く卒業、入学のマーケットも同世代が客層のため、このまま順調に推移すれば、2～3か月先の景気は良くなっていくとみている。

(乗用車販売店) …この先は、1月の初売りから始まり年間最大の需要である3月を迎えるため、景気は良くなるとみている。

(電気機械器具製造業) …この先、新製品開発に向けた設備投資が行われる見通しである。

(金融業) …今年の冬は小売業界の想定に近い天候で推移するとみられることから、業績予想どおりの決算になるものとみている。

(人材派遣会社) …年明けからの求人ニーズが増加傾向にある。また、無期労働契約への転換に関係した求職者の動きが増える見込みである。

(民間職業紹介機関) …製造業の求人が増加している。ただし、派遣による補充を考えている企業が多い。

## ○「変わらない」

(商店街) …株高など景気回復に向けた明るい動きがあるものの、年金財政などの高齢化社会への不安から、消費者の財布のひもが固い状態が続くとみている。

(スーパー) …全国的に好景気というが、地方においては全く実感できない。消費を大きくけん引するような施策や要因も見当たらないため、この先、消費者の財布のひもが緩むことを期待できない。

(一般レストラン) …企業による新年会が少なくなっている。また、卒業シーズンとなりお金が掛かる時期になるため、売上がそれほど良くなるとは考えにくい。

(都市型ホテル) …客の新規獲得が課題ではあるものの、宴会については例年同様の予約数を確保している。

(旅行代理店) …旅行業界にとって目新しいものがないため、このまま状況は変わらないとみている。

(美容室) …正月に向けた商品券に対する購買意欲は非常に高く、売上は前年を上回っている。ただし、それ以外の美容施術の単価は下がっている。景気が悪いため、少しでも財布に負担がかからないよう、割増商品券の購入に走っているのではないかとみている。

(食料品製造業) …既存品の販売量減少をカバーするために新商品を投入しているが、効果は薄い。厳しい状況はまだ続くとみている。

(建設業) …工事受注額は当初の見込みどおりであるため、2～3か月先も現状のままで推移するとみている。

(広告代理店) …年度末の繁忙はあるものの、新しい仕事の情報は乏しい。

(公認会計士) …全体的に建設関係が好調であり、小売業、サービス業などの落ち込みをカバーしている。会計年度末までは今の状況が続くとみている。

(職業安定所) …省力化設備などの導入や計画が増えており、安定した成長が期待できる。反面、深刻な人手不足により、教育や研修に人を回す余裕がなく、経験者を求める中小企業からの相談が増えている。

## ○「やや悪くなる」

(医薬品販売店) …政治が安定していることはプラス要因であるが、消費税の引上げの予定と、少子高齢化は構造的にマイナス要因である。ダイナミックな対策がなければ、長期的に購買意欲が停滞した社会になるのではないかとみている。

(コンビニ) …最低時給の改定により、収益が圧迫されている。また、ファーストフードなどの高値入商品の販売量鈍化により、値入率も下降傾向にある。

(木材木製品製造業) …年明けは例年受注が減少する傾向にある。また、原材料価格の高騰に加え競合品との競争から、製品単価が下落する見通しであり、収益面の悪化が見込まれる。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上